

椋鳩十生誕120年 孫が思い伝える

湧水

湧水町の栗野中央公民館で2日、町生涯学習推進大会があり、約200人が参加した。鹿児島ゆかりの児童文学作家、椋鳩十(1905〜87年)の生誕120周年を記念し、孫の文筆家・久保田里花さん(53)＝鹿児島市、写真Ⅱが講演し、戦争が作品に与えた影響などについて語った。

同町を舞台にした作品は狩人とガンの残雪が登場する「大造じいさんとガン」など三つ。講演で久保田さんは「大造じいさんとガン」は太平洋戦争の1カ月前に



発表され、「戦争突入直前で議論できない時代だった。残雪を権力に反抗する英雄とした」と語った。

戦時中は敵を倒すために命をささげることが名誉とされ、「生きることが尊く美しいことを、人間では規制がかかるので、野生動物が愛情をもって生きる姿として書いた」と話した。

2025年3月9日付 15 面

【問1】 湧水町の栗野中央公民館で、鹿児島ゆかりの児童文学作家、椋鳩十の生誕 120 周年を記念し、孫の文筆家・久保田里花さんが、講演をしました。久保田さんは、どんなことについて語りましたか。

(戦争が作品に与えた影響) などについて語った。

【問2】 湧水町を舞台にした椋鳩十の作品は、いくつありますか。

(三) つ

【問3】 講演で久保田さんは、「大造じいさんとガン」について、どのように話しましたか。

・ 「大造じいさんとガン」は(太平洋戦争)の1カ月前に発表され、「戦争突入直前で(議論)できない時代だった。残雪を(権力)に反抗する(英雄)とした」と語った。

・ 戦時中は(敵)を倒すために命をささげることが名誉とされ、「(生きる)ことが尊く美しいことを、(人間)では規制がかかるので、(野生動物)が愛情をもって生きる姿として書いた」と話した。

【書きましよう】 この記事を読んだ感想を書きましよう。

むずかしい漢字とことば 湧水(ゆう・すい) 栗野(くり・の) 生涯学習(しょう・がいのがく・しゅう)＝自分の理解を深めたり、生活を充実させたりするために、生涯を通じて学ぶこと 推進(すい・しん) 椋鳩十(むく・はと・じゅう) 生誕(せい・たん) 久保田里花(く・は・た・り・か) 講演(こう・えん) 与(あた)え 影響(えい・きょう) 舞台(ぶ・たい) 狩人(かり・うど) 残雪(ざん・せつ) 大造(だい・ぞう) 突入(とつ・にゅう) 議論(ぎ・ろん) 権力(けん・りょく) 反抗(はん・こう) 英雄(えい・ゆう) 敵(てき) 倒(たお)す 名誉(めい・よ) 尊(とうとく) 規制(き・せい) 愛情(あい・じょう) 姿(すがた)

